

# 龍郷町立 戸口小学校 公開研究会

【研究主題】 読む力を育てる国語科の学習指導の改善 ～文学的文章の読解と表現を関連付けた指導の工夫～

## 研究主題の設定理由

諸学力検査の実態

- 国語の「読むこと」の領域と叙述に基づいて考えたり表現したりすることに課題がある。
- また、教師は、それらに応じるための授業づくりや場の設定に不安を感じている。

指導事項の関連と共通する課題

- 「読むこと」の中でも特に文学的文章の解釈や自分の考えの形成及び交流に全学年共通して課題があった。
- 「叙述を基に場面の様子や変化、登場人物のつながりを捉えること」「自分の考えの根拠を文章で表現したり発表したりすること」「友達の考えを聞いてよりよい考えを見つけること」について、全学年に課題が見られた。

## 本校で育みたい三つの子ども像

- ◎ 叙述を基に自分の経験と結び付けて想像を広げながら読むことができる子ども
- ◎ 自分の考えを、根拠を明らかにして、文章で表すことができる子ども
- ◎ 自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達の考えを理解したりして、よりよい考えを見つけることができる子ども

### 重点1 (ア) (例) 2年公開授業より

単元名・教材名	単元の目標	言語活動
おはなしを音読しよう「ふきのとう」(4月)	・「人物」をもとに役に分かれ、語のまとまりや響きに気を付けて音読することができる。	音読発表
お話を読んで、かんそうを書こう「スイミー」(6月)	・書き抜いた文章の中の大事な言葉や文をもとに、感想を書くことができる。 ・人物の行動や場面の様子などについて、交流を通して想像を広げながら読むことができる。	感想カード交流
音読げきをしよう「お手紙」(10月)	・どんなふうに読めばいいか、友達と意見交流しながら読み取りについての考えを深めることができる。	音読劇

主体的な読みを深めるために、既習の言語活動と単元の目標から言語活動を音読劇として設定した。

## 全学年での取組

### 重点1

#### 【読む目的を明確にする単元構想】

##### (ア) 既習の言語活動と単元の目標を踏まえた言語活動の設定

→ 単元の目標を達成させるために、既習の言語活動を踏まえ単元全体で取り組む言語活動を設定する。

##### (イ) 目標を見据えた単元全体を貫く「問い」の設定

→ 初発の感想を比べたり、試し作りをしたりして、「こうしてみたい」「こうなりたい」と願いをもちながら常に目標やそのための方法を意識させるような問いを設定する。

### 重点2

#### 【主体的・対話的な交流活動の設定】

##### (ア) 話し合うための明確な目的や視点の設定

→ 1単位時間の中で、「何について話し合うのか」「どんなことに着目して話し合うのか」を明らかにして、話し合いに臨ませる。  
(例)「分かりやすく伝えるためには」、「登場人物の行動から」

##### (イ) 発表話型にとらわれない日常会話の延長のような話し合いの設定

→ 話しやすい雰囲気をつくるために、日常会話の延長のような話し合いの仕方を取り入れたり、話し方の模範を示したりする。

### 重点3

#### 【学習したことを深化・発展させる活動の設定】

##### (ア) 学習のあしあと

→ 学習によって高まった「読む力」を自覚させるため、学習に使用した教材や学習後のノートなどを掲示する。

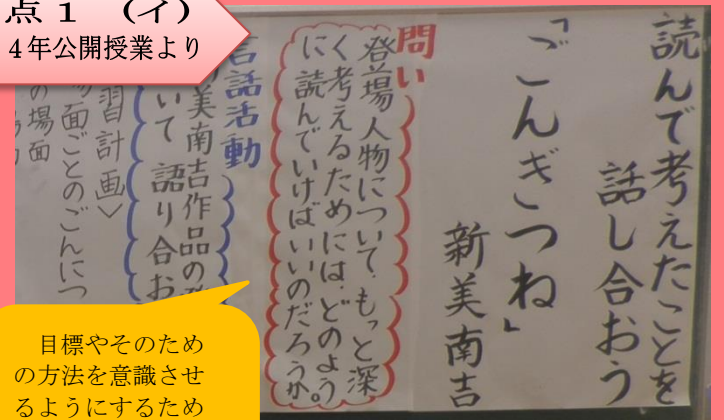
##### (イ) 朝の読書タイムによるおすすめブック30の取組

→ 「読む力」を高めるために、発達の段階及び学年の学習内容を踏まえて選書された本の読書を推進する。

##### (ウ) 読書ノートや日記指導の充実

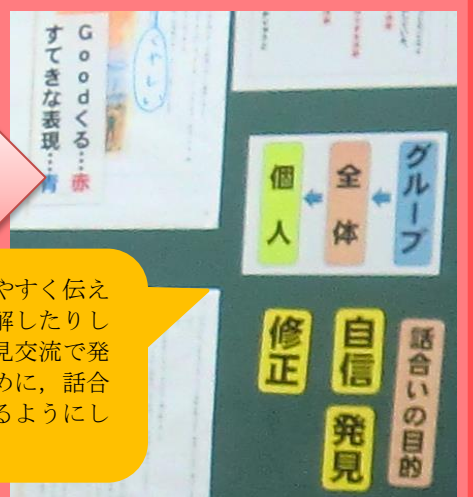
→ 自分の考えを表現することに慣れさせるため、学習したことを生かして、文学的文章を読んだ後の感想を書かせたり、テーマを指定した日記を書かせたりする。

### 重点1 (イ) (例) 4年公開授業より



目標やそのための方法を意識させるようにするための「目標を見据えた単元全体を貫く『問い』」を設定した。

### 重点2 (ア) (例) 5年公開授業より



自分の考えを分かりやすく伝えたり、友達の考えを理解したりして、よりよい考えを意見交流で発見できるようにするために、話し合いの目的を明確に伝えるようにした。

### 重点2 (イ) (例) 2年公開授業より



ぼくは、もう一つ考えたよ。手紙がもらえるかもしれないって思ったから、半分は驚いて、もう半分は嬉しいっていう気持ちがあるんじゃないかな。

「きみが。」は、おどろいている気持ちで読めばいいかもしれないよ。だって、がまくんは、かえるくんがお手紙を書くなんて思ってたから。

日常会話の延長のような話し方により、話しやすい雰囲気を作って意見交流をした。

## 分科会の主な協議内容



【公開授業の様子】



【分科会でのワークショップの様子】

	成果	改善点
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生への音読劇という相手意識、目的意識がきちんと子どもたちに理解されている。</li> <li>○ 交流の中で自分なりの考えを自分の経験と照らし合わせながら話していて素晴らしいと思った。</li> <li>○ 子どもが「めあて」を立てていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 読みの違いが分かるように、はじめとおわりに(視聴覚機器などで)読みを聞いてもよかった。</li> <li>● 「音読」を入れたかった。</li> <li>● 全体の話し合いで子どもたちが気付いていない点にふれられるとよかった。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の流れが掲示されており、見通しをもって授業に臨んでいた。</li> <li>○ 図やイラストが豊富で想像力がかきたえられるようになっている。</li> <li>○ 話し合い活動で自分の意見と友だちの意見を比べている場面が見られ、思考を深める活動につながっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「一人」「グループ」の話し合いに、考える時間をもう少し長くして、充実できればよかった。</li> <li>● 教師と子ども全体となっていたので、可能ならば子どもたち同士で全体のやり取りができるとよかった。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ リーフレットをつくるために、「グッとくる表現」や「すてきな表現」を見付けようという目的がしっかりあったので、子どもたちが本文を細かく読んでいた。</li> <li>○ 話型にとらわれない話し合いは、発言しやすい雰囲気をつくっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 意見が合わない時、すり合わせるための視点が必要であった。</li> <li>● 自分がグッときた場面に線を引いていたが、話し合いで消していた。よい表現のところだったので、自分の意見や考えに自信をもたせる働きかけが必要であった。</li> </ul>